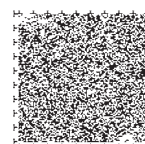
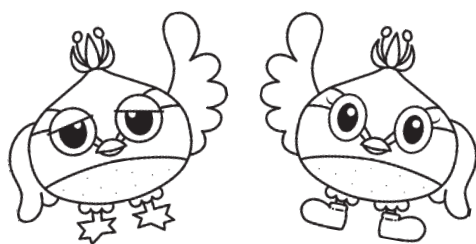

資料編



台瀧不動の滝





市章

ひだかの「ひ」を図案化したもので、市の発展、融和、親睦を象徴しています。
(昭和 45 年 11 月 30 日制定)

市の花・木・鳥

自然愛護思想、緑化思想及び愛鳥思想の普及に資するため、市の象徴として、昭和 55 年 12 月 8 日に指定しました。また、平成 28 年 10 月 1 日に市の花に曼珠沙華を追加指定しました。

市の花【ハギ】



普通は、やまはぎを指し、秋の七草の第一とされています。幹の高さは 1 m から 1.5 m の落葉低木で、初秋のころ紅紫色の可憐な花をつけ、枝先が地面につくようにしだれます。花は蝶のような形で、仲秋のころ散りこぼれ、秋の野山の代表的な花として古くから詩歌にうたわれています。市内には高萩の地名があるように、昔は日高の野山にたくさん自生していました。

市の花【曼珠沙華】



一般的には彼岸花（ヒガンバナ）と呼ばれ、秋の彼岸頃（9 月中旬）になるとその先端に赤い花をつけ、花びらは強く反り返り、人里に近い川岸や田の縁などに生えます。

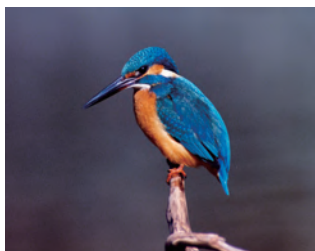
市内にある巾着田曼珠沙華公園では一面が真紅に染まり、まるで赤いじゅうたんを敷き詰めたようになります。

市の木【モクセイ】

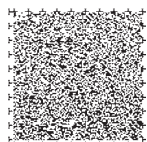


幹の高さは 4 m から 5 m の常緑小高木で、花は葉の根元にたくさんつき、甘い芳香が人の足をとめます。花が白いのは銀もくせい、黄色いのは金もくせい。もくせいは中国が原産で、雄株と雌株がありますが、日本にあるのは雄株だけです。花は 9 月から 10 月に咲きます。庭の植木として親しまれているほか、学校の校庭などにも大きな木があります。

市の鳥【カワセミ】



すずめくらいの大きさの鳥です。背は鮮やかなコバルトブルー。四季を通じて見ることはできますが、新緑、水辺の姿が印象的なので夏の鳥とされています。よく木の枝などにいて、水の中に急降下して魚をとります。水のきれいなところに住む鳥で、高麗川の清流など市内の河川をこれからも汚さないかぎり、かわせみの姿が消えることはないでしょう。



1. 日高市の紹介

(1) プロフィール

本市は、埼玉県南西部地域にあり、東京都心から 40km 圏内です。地理上の位置は、東経 139 度、北緯 35 度にあたります。

市域は、東西方向 11.1km、南北方向 6 km に及び、面積は 47.48km²を有し、約 70% が平野で占められています。地勢は、秩父山地の外縁部にあたり、市西部の山地と高麗丘陵、東部の台地に大別されます。また、高麗川が山地と高麗丘陵、台地の間を西から東に流れています。

西部地域が奥武蔵自然公園に指定されており、関東百名山の日和田山や 500 万本の曼珠沙華が咲き誇る巾着田、そして清流高麗川に代表される豊かな自然を有しています。特に巾着田から眺める日和田山の姿は私たち市民共有の財産です。また、都市化に伴い身近な緑が減少する中、市内に点在する里山など、貴重な自然が残されています。

気候は、太平洋岸式気候の内陸的傾向を示し、一般に四季を通じて穏やかです。

市の周囲は、川越市、飯能市、狭山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町の 5 市 1 町にそれぞれ接しています。

市内鉄道網は、J R 川越線が市中央部から東に延びており、また、J R 八高線が市中央部を南北に通っています。さらに、市西部には西武鉄道池袋線が通っています。J R 川越線の埼京線、りんかい線直通運転、J R 八高線の青梅線、中央線直通運転、西武池袋線の東京メトロ有楽町線、副都心線などとの相互直通運転により、都心への通勤や通学の利便性は格段に向上しました。

市内の主要な道路網は、自動車専用道路として市東部に圏央道が通過し、国道は、市東部に国道 407 号、西部に国道 299 号がそれぞれ南北に通っています。県道は、県道川越日高線が東西方向に国道を結ぶ道路となっており、市東部に県道笠幡狭山線、市中央部に県道飯能寄居線が南北に通っており、北部には県道日高川島線、南部には県道日高狭山線が通っています。

(2) 市の歩み

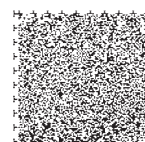
はるかに歴史を遡ると、今から約 1 万 2 千年前、旧石器時代の後半には、日高の地に人々が生活していた跡が確認されています。また、平安時代に成立した「続日本紀」には、駿河、甲斐など 7 か国に散在していた高句麗人 1,799 人を移して霊亀 2 年（西暦 716 年）高麗郡を設置した旨の記述があります。この高麗郡は、現在の本市を中心として飯能市や入間市、川越市、鶴ヶ島市を含んだ範囲と推定されています。

これ以外にも、田畑を拓き産業を興し、平和な中にも時には戦乱の舞台となり、あるいは天災に立ち向かった当時の人々の生き生きとした暮らしぶりがしのばれる歴史的な資料が数多く残されています。

戦後に目を移すと、我が国は、復興期、高度経済成長期、そして安定経済成長期を通して、首都東京に政治、経済、文化などあらゆる機能が集まった、いわゆる一極集中型の国土構造を形づくってきました。

本市は、首都圏に位置するため、直接的、間接的にこのような時代の影響を強く受けることとなりました。

本市の基本的な性格は、昭和 30 年、31 年の三村合併、編入に遡ります。昭和 30 年に高麗、高麗川の両村が合併し、日高町が発足しました。翌年の 31 年に高萩村を日高町に編入したことで、



現在の日高市域が形成されます。そして、本市は、この合併、編入前後までの農村地帯から、昭和30年代における基幹産業の進出による産業発展の時代、また、昭和40年代からの日本住宅公団（現在の独立行政法人都市再生機構）、民間企業を中心とした大規模住宅地の開発などによる人口の急増及び市街地の拡大などによる住宅都市化など、その時代の要請に合わせた都市の性格をも整えてきました。こうした中で、平成3年（1991年）には市制が施行されました。

平成14年（2002年）からは可燃ごみをセメントの原料とする資源化处理を開始し、現在も高いリサイクル率を誇ります。

平成28年（2016年）には、高麗郡が置かれてから1300年の節目に当たり、大切な歴史や文化を未来に引き継ぐため、高麗郡建郡1300年記念祭を開催しました。

平成29年（2017年）には当時の天皇后陛下が市内を訪問され、巾着田曼珠沙華公園では満開の曼珠沙華をご覧になりました。

平成31年（2019年）4月からは所沢市、飯能市、狭山市、入間市の5市と埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）に加入し、近隣自治体と連携を深めながらまちづくりを進めています。

(3)友好都市大韓民国烏山市

烏山（オサン）市は、歴史的には高句麗の地であり、北部から南部にかけて平地が広がる小さな盆地で形成されています。大韓民国の首都ソウルから南に約40km、京畿道（キョンギド（日本の県に当たる））の南西部に位置し、ソウルの衛星都市として発展してきました。

昭和64年（1989年）1月1日に市制を施行し、令和2年（2020年）12月末現在、人口は229,725人、面積は42.73km²の都市です。市の中央には京釜（京畿道・釜山）鉄道、国道、地方道が、市の東部には京釜高速道路が南北に貫通しており、産業と交通の要衝地となっています。

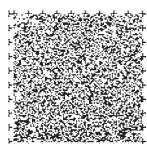
主な産業は化粧品や精密機械などの製造業で、市内には禿山城や洗馬台址などの歴史的な名所があります。また、教育に力を入れており、国の教育都市として選定されています。

平成8年（1996年）10月1日、本市と友好都市締結調印を行いました。以降、小学生のスポーツ交流を始め市民レベルの交流が盛んに行われています。



(4)シンボルマーク

シンボルマークは、平成3年（1991年）の市制施行を記念して作成しました。日高のイメージ「緑と清流」をテーマに251点の応募の中から選考されたものです。シンボルマークの意味は、「ひだか」の頭文字「ひ」を清流のイメージ（青）に表現し、その上部に市民のエネルギーを意味する太陽（赤）を、下部には日高の豊かな自然（緑）を表しています。全体として、市民のふるさとを愛する心と未来へ大きく飛躍・躍動する姿を象徴しています。



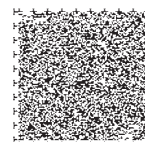
2. 第6次日高市総合計画策定経過

【平成30年度】

日程	会議名等	内容
平成31年 1月25日	第6次日高市総合計画に係る日高市トップインタビュー実施	谷ヶ崎 照雄市長の目指す将来都市像などについて
1月30日	日高市議会全員協議会	第6次日高市総合計画の策定について（報告）
2月20日	平成30年度第2回日高市行政経営審議会	第6次日高市総合計画の策定について
2月22日	第6次日高市総合計画に係る職員アンケート実施	全職員369人対象 有効回収数（率）278人（75.3%）
3月	まちづくり市民アンケート調査実施	無作為抽出による18歳以上の市民2,000人対象。 有効回収数（率）796人（39.8%）

【令和元年度】

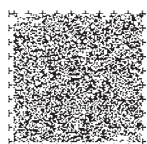
日程	会議名等	内容
令和元年 5月28日	第6次日高市総合計画策定方針決定	
6月1日～ 6月21日	第6次日高市総合計画市民ワークショップ参加者募集	
6月11日	第1回日高市総合計画策定委員会	(1) まちづくり市民アンケート調査の結果報告について (2) 総合計画策定委員会専門部会の設置について
6月13日～ 6月27日	日高市総合計画策定委員会専門部会部会員募集	
7月17日	第1回第6次日高市総合計画市民ワークショップ	委員委嘱（34名） (1) 市民ワークショップの趣旨及び進め方について (2) 総合計画について (3) 市民意識調査について (4) グループディスカッション 検討テーマの設定
7月31日	日高市議会全員協議会	第6次日高市総合計画策定の進捗状況について（報告）
7月31日	第2回第6次日高市総合計画市民ワークショップ	(1) グループディスカッション 討議テーマの選定
8月22日	第3回第6次日高市総合計画市民ワークショップ	(1) グループディスカッション 討議テーマに基づく意見の取りまとめ
8月22日	次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けた市民ワークショップ参加者募集	
9月4日	第4回第6次日高市総合計画市民ワークショップ	(1) グループディスカッション 「将来都市像」提案シートの作成 (2) 提言書のグループ別発表
9月20日	令和元年度第1回日高市行政経営審議会	・日高市総合計画について ・日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
9月26日	第1回次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ	委員（16名） (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略とは (2) グループディスカッション 本市の魅力の抽出、人物像の検討
10月10日	第2回次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ	(1) グループディスカッション 人物像が抱える困難や野望を本市の魅力で解決し、幸せになることができる物語のタイトルとあらすじを考える
10月29日	第3回次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ	(1) グループ発表
11月1日	日高市総合計画策定委員会専門部会設置	課長級10人、主査級20人、男性20人、女性10人
11月6日	第4回次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ	(1) グループディスカッション 定住・移住・起業を促進するための事業を考えよう
11月20日	第5回次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ	(2) グループディスカッション 定住・移住・起業を促進するための事業を分類し、戦略プロジェクトのタイトルを考えよう



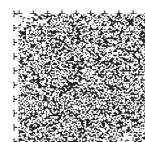
11月22日	第1回日高市総合計画策定委員会専門部会	(1) 部会長の選出 (2) 将来人口推計について (3) 第6次日高市総合計画の構成案について (4) 第6次日高市総合計画基本構想将来都市像について
12月5日	第2回日高市総合計画策定委員会	(1) 将来人口推計について (2) 第6次日高市総合計画の構成案について (3) 第6次日高市総合計画基本構想将来都市像について
12月11日	第6回次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ	(1) グループディスカッション 本市の人口対策についての戦略プロジェクトを考えよう (2) グループ発表
12月16日	第6次日高市総合計画市民ワークショップ	第6次日高市総合計画基本構想の将来都市像の選定について書面での意見聴取
12月18日	第6次日高市総合計画における将来都市像について（決定/市長決裁）	
12月20日	第2回日高市総合計画策定委員会専門部会	(1) まちづくりの基本方針について (2) 土地利用に関する基本的な方針について
令和2年1月8日	第3回日高市総合計画策定委員会	(1) 基本構想まちづくりの基本方針について (2) 基本構想土地利用に関する基本的な方針について
1月16日	第3回日高市総合計画策定委員会専門部会	(1) 基本構想について (2) 前期基本計画リーディングプロジェクトについて
1月28日	第4回日高市総合計画策定委員会	(1) 第6次日高市総合計画基本構想について
1月30日	第4回日高市総合計画策定委員会専門部会	(1) 前期基本計画の概要について (2) リーディングプロジェクト（次期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略）について
2月18日	令和元年度第2回日高市行政経営審議会	(1) 第6次日高市総合計画基本構想について (2) 次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係る市民ワークショップについて
2月18日	第5回日高市総合計画策定委員会専門部会（書面開催）	(1) 次期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と施策の展開について (2) 前期基本計画策定に係る検討シートについて
2月19日	日高市議会全員協議会	第6次日高市総合計画基本構想について（協議）
2月25日	第5回日高市総合計画策定委員会	(1) 前期基本計画の構成について (2) 前期基本計画の概要について (3) リーディングプロジェクトについて (4) 前期基本計画策定スケジュールについて
2月28日	第6次日高市総合計画前期基本計画策定に向けた庁内説明会	(1) 第6次日高市総合計画前期基本計画の策定について (2) 次期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
3月1日～3月31日	第6次日高市総合計画基本構想（案）に対する市民コメント募集	

【令和2年度】

日程	会議名等	内容
4月3日	第6回日高市総合計画策定委員会専門部会	(1) 基本構想に対する市民コメント等の結果について (2) 基本計画検討案について (3) リーディングプロジェクト（次期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略）について
4月7日	第6回日高市総合計画策定委員会	(1) 基本構想に対する市民コメント等の結果について (2) 前期基本計画検討案について (3) リーディングプロジェクト（次期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略）について
4月14日	第7回日高市総合計画策定委員会	(1) 基本構想案について (2) 前期基本計画検討案について (3) リーディングプロジェクトについて
4月14日	令和2年度第1回日高市行政経営審議会	第6次日高市総合計画基本構想（案）について（諮問）
4月28日	日高市議会全員協議会	第6次日高市総合計画について（協議）



5月11日	令和2年度第2回日高市行政経営審議会	(1) 第6次日高市総合計画基本構想（案）について（答申） (2) 前期基本計画（案）について (3) 第2期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
5月25日	令和2年第2回日高市議会定例会へ「第6次日高市総合計画基本構想を定めることについて」提案	
6月4日	総務福祉常任委員会にて審議	
6月9日	第8回日高市総合計画策定委員会	(1) リーディングプロジェクトについて
6月18日	第7回日高市総合計画策定委員会専門部会	(1) 前期基本計画施策の展開について (2) リーディングプロジェクトについて
6月19日	令和2年第2回日高市議会定例会において第6次日高市総合計画基本構想を可決	
6月23日	第9回日高市総合計画策定委員会	(1) 前期基本計画について (2) リーディングプロジェクトについて
7月8日	第10回日高市総合計画策定委員会	(1) リーディングプロジェクトについて
7月14日	第11回日高市総合計画策定委員会	(1) 前期基本計画について (2) リーディングプロジェクトについて
7月27日	令和2年度第3回日高市行政経営審議会	(1) 第6次日高市総合計画前期基本計画（案）について (2) リーディングプロジェクト（案）について
7月29日	日高市議会全員協議会	第6次日高市総合計画について（協議）
8月1日 ～8月31日	第6次日高市総合計画前期基本計画（案）に対する市民コメント実施	
9月15日	第12回日高市総合計画策定委員会	(1) 前期基本計画について (2) リーディングプロジェクトについて
9月29日	令和2年度第4回日高市行政経営審議会	(1) 第6次日高市総合計画前期基本計画(案)について（諮問）
11月6日	令和2年度第5回日高市行政経営審議会	(1) 第6次日高市総合計画前期基本計画(案)について（答申）
11月19日	日高市議会全員協議会	第6次日高市総合計画について（報告）
12月22日	第13回日高市総合計画策定委員会	(1) 第6次日高市総合計画資料編等について
令和3年 3月	第6次日高市総合計画前期基本計画策定	



3. 第6次日高市総合計画策定における市民参加

日高市市民参加条例（平成20年9月30日条例第25号）では、市の基本構想、基本計画その他基本的な事項を定める計画の策定の際は、市民コメントの実施、審議会や市民集会の開催、市民会議の設置などにより市民参加の手続を行うよう定めています。

第6次日高市総合計画の策定においては、審議会の開催、市民コメントの実施、市民会議の設置を行いました。

市民参加手続の方法とその際の意見等を掲載します。

（1）審議会等の開催

地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき設置された附属機関及びこれに類する機能を有するもので、その委員の全部又は一部に公募による市民が含まれるものから意見を求める方法をいいます。

⇒原案を諮問し答申をいただきました。

（2）市民コメントの実施

対象施策等の実施の過程で、市の機関がその案、趣旨等を公表し、市民からの意見の提出を求め、その意見に対する考え方等を公表する方法をいいます。

⇒第6次日高市総合計画基本構想（案）及び前期基本計画（案）に対し、2回実施しました。閲覧した案に対して意見をいただきました。

（3）市民会議の設置

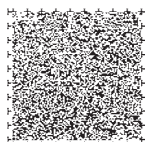
市の機関又は市民から提示された対象施策等について、公募による市民等で構成される組織において、自主的な運営により討議を行い、その結果に係る提言を受ける方法をいいます。

⇒第6次日高市総合計画市民ワークショップ及び次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップを開催し、「市が目指すべき将来像」及び「人口対策についての戦略プロジェクト」についての提言をいただきました。

（4）市民アンケートの実施

短期間で多く回答を得られ、市民の意向を統計的に知ることができるもので、計画策定に際して使用される効果的な方法です。

⇒まちづくり市民アンケート調査（無作為抽出）を実施し、多くの回答をいただきました。



(1) 審議会等の開催

日高市行政経営審議会への諮問と答申

○基本構想

日政発第5号
令和2年4月14日日高市行政経営審議会
会長 佐野修一様

日高市長 谷ヶ崎 照 雄

第6次日高市総合計画基本構想（案）について（諮問）
 第6次日高市総合計画基本構想（案）を別添のとおり策定したので、日高市行政経営審議会条例（平成19年3月23日条例第5号）第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

令和2年5月11日

日高市長 谷ヶ崎 照 雄 様

日高市行政経営審議会
会長 佐野修一

第6次日高市総合計画基本構想（案）について（答申）
 令和2年4月14日付け、日政発第5号にて諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

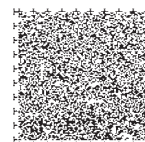
日高市は、平成23年度（2011年度）からの10年間、第5次日高市総合計画で「笑顔と元気を未来へつなぐ 緑きらめくまち 日高」と将来都市像を定め、その実現のため各種施策を実施し、まちづくりを推進してきました。

本審議会では、日高市が提示した素案をもとに、専門的な見地や市民としての視点で慎重に審議しました。その結果、第6次日高市総合計画基本構想（案）については、次のことから全体として妥当なものであると判断します。

なお、今回諮問された第6次日高市総合計画基本構想は、本市の今後10年間にわたる総合的かつ計画的なまちづくりの指針となる計画です。限られた財源の中、基本構想において将来都市像として位置付けられた「安心して住み続けられる ふれあい清流文化都市 日高」を実現するため、日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略との連動性を図り、効果的に施策を進めていただくよう期待します。

1. 将来都市像について

第6次の計画では、市民憲章や都市宣言を本市の普遍的な理念として位置付け、市民アンケートや市民ワークショップにより市民の意見を聴取して、10年後の本市の目指すべき姿である将



来都市像を定めており、市民とともにまちづくりを進めていこうとする姿勢が感じられる。

昨今の自然災害や感染症などにより、安心して日常生活を送ることができる環境がいかに大切であるか肌身をもって感じており、「安心して住み続けられる」というフレーズは、まさに本市が実現していかなければならないことだと感じる。また、「ふれあい清流文化都市」は、都市宣言の表現そのものであり、都市宣言に込められた思いを実現しようという姿勢が感じられる。総じて、第6次総合計画における将来都市像としてふさわしいものだと考える。

2. まちづくりの基本方針について

将来都市像を実現するため、7つの基本方針を立てることでまちづくりを総合的に進めていこうとする姿勢が感じられる。中でも基本方針4の「循環型社会」は、第5次から第6次へ引き継がれているキーワードで、将来都市像実現のために欠かせないものだと考える。この7つの方針を達成するための施策が推進されることを期待したい。

なお、市民アンケートや市民ワークショップの意見として、公共交通対策に関する意見が多く寄せられており、基本方針2の「快適に暮らせるまち」の実現に当たり、コンパクトシティとともに地域公共交通対策についても基本計画に盛り込むことを検討いただきたい。

3. 土地利用に関する基本的な方針について

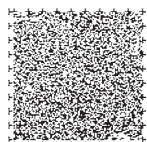
本市の豊かな自然を守り、住環境と産業が共生する土地利用を図っていこうとする姿勢が感じられる。法規制等による様々な制約がある中ではあるが、主要幹線道路のネットワーク構築とともに、引き続き企業誘致などによるまちの活性化を視野にいたした土地利用を図っていただきたい。

4. 附帯意見

- (1) 第5次日高市総合計画基本構想では、計画目標年度における人口目標が設定されていたが、第6次日高市総合計画基本構想には設定されていない。人口は本市のまちづくりの上で重要な指標であることから、前期基本計画において人口目標を設定していただきたい。
- (2) 第5次日高市総合計画基本構想では、「基本構想推進のために」が章立てされていたが、第6次日高市総合計画基本構想では、基本方針の柱の一つに位置付けられている。第6次日高市総合計画においても引き続き行政評価制度を実施し、施策の進捗状況や効果測定を行うことで、行政サービスの向上を図っていただきたい。



〈日高市行政経営審議会 答申の様子〉



○前期基本計画

日政発第197号
令和2年9月29日

日高市行政経営審議会
会長 佐野修一様

日高市長 谷ヶ崎 照 雄

第6次日高市総合計画前期基本計画（案）について（諮問）

第6次日高市総合計画前期基本計画（案）を別添のとおり策定したので、日高市行政経営審議会条例（平成19年3月23日条例第5号）第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

令和2年11月6日

日高市長 谷ヶ崎 照 雄 様

日高市行政経営審議会
会長 佐野修一

第6次日高市総合計画前期基本計画（案）について（答申）

令和2年9月29日付け、日政発第197号にて諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申します。

記

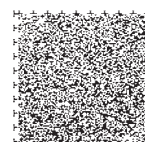
前期基本計画（案）は、市民アンケートなどによる市民意向を踏まえた上で、第5次日高市総合計画と日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略を評価・検証し、現状と課題を捉え、本年6月議会で議決された基本構想で定めた将来都市像の実現に向けた内容となっています。また、市民コメントによる意見聴取、本審議会の審査など十分な手続を経て策定されています。

上記のことから、本審議会としておおむね妥当なものと判断します。

なお、前期基本計画の策定・調整、実施、進行管理について、次に掲げる内容に十分配慮し、まちづくりを推進されますよう要望します。

1. 計画の策定・調整について

- (1) 前期基本計画及びリーディングプロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）と多くの内容が盛り込まれており、構成、表現などは市民にとって分かりやすいよう配慮されたい。
- (2) 前期基本計画における成果指標、リーディングプロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）における重要業績評価指標が設定されたが、再度、妥当性、目標値などについて検討し最終調整されたい。



2. 計画の実施について

- (1) 策定した前期基本計画は、市民・企業・行政が役割分担のもと、協働でまちづくりを推進するための指針となるものである。大変厳しい財政状況と推察されるが、十分周知を行い理解と協力を得ながら事業を実施されたい。
- (2) 地方創生と人口減少対策としてリーディングプロジェクトが設定されたが、目標が達成されるよう予算・職員配置など、重点化に配慮して取り組まれない。
- (3) 前期基本計画は26の施策が設定されたが、今後これを具体化した約500の事業を盛り込んだ3年間の実施計画が毎年度策定される。費用対効果、必要性、効率性など十分考慮した実施計画を策定し、新しい時代に対応した持続可能なまちづくりに向け、事業を実施されたい。
- (4) 審議過程において出された個別具体的な意見も踏まえた上で、施策の推進を図っていただきたい。

3. 計画の進捗状況の評価について

- (1) 今回の計画でSDGsの概念が導入されたことは、地方創生の実現に資するもので大変評価できる。26の施策にその取組が設定されたが、評価方法を十分検討し、PDCAサイクルによる行政評価を実施されたい。
- (2) 本市のPDCAサイクルによる行政評価システムは、内部評価と外部評価により事後評価として実施されているが、事業を実施する中で、構成・指標の考え方など更に充実を検討されたい。

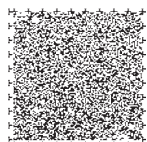
4. 附帯意見

- (1) 市民が市の情報にアクセスしやすくするためにも、図表や各数値目標における現状値については出典元の表記をお願いしたい。また、専門的用語については、解説を付記されたい。

日高市行政経営審議会委員

会長	佐野 修一	職務代理	岡村 登志枝
	新堀 陽子		井上 誠人
	宮下 春樹		堀口 友枝
	結城 君枝		石井 淳子
	相原 貴弘（令和元年12月31日まで）		武田 一宏（令和2年1月1日から）
	横手 澄男（令和2年1月16日まで）		福井 一洋（令和2年1月17日から）
	平井 敬（令和2年4月27日まで）		新井 正廣（令和2年4月28日から）
	白石 昭彦（令和2年6月30日まで）		山内 圭（令和2年7月1日から）

（ ）は任期。記載のない方は令和元年8月1日就任。



(2) 市民コメントの実施

○第6次日高市総合計画基本構想（案）に対する市民コメント

令和2年3月1日から3月31日まで実施し、12名の方から49件の意見をいただきました。

◇施策分野で分類した主な意見

観光6件、環境5件、人口減少5件、財政4件

◇内容で分類した主な意見

- ・土地利用に関するもの 11件
- ・基本方針に関するもの 9件
- ・掲載内容に関するもの 9件
- ・文言やレイアウトに関するもの 5件

意見を踏まえて原案を修正するとともに、市の考え方を提出者へ回答の上、市ホームページにおいて公表しました。

○第6次日高市総合計画前期基本計画（案）に対する市民コメント

令和2年8月1日から8月31日まで実施し、38名の方から283件の意見をいただきました。

◇施策分野で分類した主な意見

教育17件、福祉15件、環境13件、産業12件、防災・防犯11件

◇内容で分類した主な意見

- ・文言やレイアウトに関するもの 87件
- ・指標に関するもの 78件
- ・新型コロナウイルス感染症に関するもの 11件
- ・掲載内容に関するもの 9件
- ・策定プロセスに関するもの 6件

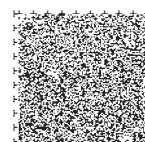
意見を踏まえて原案を修正するとともに、市の考え方を提出者へ回答の上、市ホームページにおいて公表しました。

(3) 市民会議の設置

○第6次日高市総合計画市民ワークショップ

第6次日高市総合計画の策定に当たり、市民の皆さんの考えや、まちづくりに対する思いを互いに語り合う、市民ワークショップを開催しました。公募により選ばれた市民の自主的運営による市民会議「第6次日高市総合計画市民ワークショップ」において、提言書をまとめていただきました。

市民ワークショップでは、5つのグループに分かれ、令和元年7月から計4回にわたり、市が目指すべき将来像の検討を行いました。



提言とりまとめまでの流れ

回	開催日時	プログラム
第1回	令和元年 7月17日 18:30～20:30	オリエンテーション及びワークショップ（WS）の実施 (1) WS主旨説明 (2) 日程説明 (3) 総合計画について (4) 市民意識調査説明 (5) 支援業者紹介 (6) WS実施方法説明 (7) WSの実施 ①メンバー自己紹介 ②正副リーダーの選出 ③テーマ案の検討 ④テーマ案の決定
第2回	7月31日 18:30～20:30	WSの実施 (1) WS第1回で設定したテーマに基づく協議
第3回	8月22日 18:30～20:30	WSの実施 (1) 第2回WSの確認 (2) WS第1回で設定したテーマに基づく協議
第4回	9月4日 18:30～20:30	WSの実施 (1) 第3回WSの確認 (2) 提言書のまとめとグループ別発表

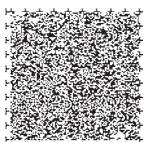


〈第6次日高市総合計画市民ワークショップの様子〉

第6次日高市総合計画市民ワークショップ 参加者

(敬称略)

グループA	グループB	グループC	グループD	グループE
荻野 朱美	東 美代子	加藤 聡	浅原 勝	岩木 隆夫
川島 弘之	大泉 征喬	金康 輝彦	潮田 真也	沓澤 卓
田中 諭	熊田 栄一	後藤 康之	乙部 由季子	陳 富子
船戸 真理子	佐成 千佳	小林 信行	菊間 公威	藤原 めぐみ
増田 宏	難波 陽子	白石 仁美	日野 恭子	横山 完爾
村上 彰	松下 倫之	辻 正重	山口 伸	
	宮越 正夫	戸田 美雅		



第6次日高市総合計画市民ワークショップ提言書（抜粋）

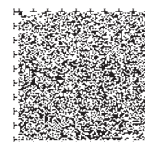
班	将来像	テーマ	項目
A	未来を見つめ安心して豊かに暮らせるまち“日高”	農家の知恵を活用し、農地を有効活用する	朝市、市民マイスター制度、市民農園の活用
		ワンストップで全てが済むショッピングモールを構築する	医療・教育・行政が一ヶ所に集合した場所づくり、自動運転車
		情報化社会の多様化を推進する	AI、IoT、ICTの活用、ユビキタス社会、サテライトオフィス
		生涯学習プログラムの充実を図る	教育と保育、リタイア組の知恵の活用、全員が生涯学習意欲が満たされる仕組み
B	豊かな自然を活用し、活気のある地域と人を育む町づくり	活気のある町のために	市内循環バスを走らせる。駅前の自由スペースの活用、食のワークショップ、町の歴史を広める
		やさしい自然を育む街（町）	巾着田の整備プロジェクト、自然と集客、循環バス、農林業の活用、
		チームワークで子育てしよう!!	ママの声、学校や保育所の利用、公園整備
C	多くの人が集まるコミュニティのある「まち」	「日高の文化」発信力の強化	新しい高麗郷の創造、日高の里構想、日高市マッププロジェクト、SDGsに即して開発目標
		安全➡安心の日高	道路整備（緑道、歩道）、電動レンタサイクルや循環バス、公園の整備、空き家の有効活用
		助け合い日高、みんな家族	駅前や公民館にコミュニティスペース設置、地元再発見、空き家・空き教室でサークル活動、市を知る
D	人と自然が共生し、安心して住める街・日高	環境保全の基準見直しとインフラの整備	市独自の環境保全基準、巾着田の活用と保全、観光資源の開発とインフラ整備、自然環境保全教育
		市民ニーズに応える新交通システム	公共交通機関と連携した循環バス、新交通システムの構築、公共交通網の連携、道路の充実
		誰もが健康で楽しく過ごせるまちへ	高齢者世帯の見守り支援、医療の公的補助、病院の受入れ態勢の充実、未病対策の確立、相談所の充実
		垣根の無い社会の創造	障がい者支援の充実、バリアフリー環境の整備、特別支援者への理解、いじめ対策、行政主導の連携システム構築
E	ユニークな6つの万華鏡	循環バスなど新システムの導入	オンデマンド、ミニバス、マーケットや公共機関の送迎バス相乗り、新システム特区、自転車活用
		自然を活かして人を呼ぶ	巾着田マネージャー、遊休農地・林地の活用、多世代にわたる自然の中での教育、ボランティアの連携、地元民による移住者や関係人口の増加策
		将来を担う人づくり	小中一貫で6つの万華鏡のような個性、多世代が交流できる場づくり、市民大学、命に係る喫緊の課題に取り組む
		センター+6サブタウンのまちづくりの骨格	買い物・医療・金融サービス・学校・集まれる場が6サブタウン 歩ける範囲に人が自然に集まれる

第6次日高市総合計画市民ワークショップ提言書の具体的な内容については、市ホームページをご覧ください。

○次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ

「日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」は、人口対策に特化した計画で、第5次日高市総合計画の将来都市像の実現に向けた「戦略プロジェクト」として位置付けられています。

次期総合戦略の策定に当たり、市民の皆さんの意見を取り入れ、より実効性の高い計画にするため、市民ワークショップを開催しました。市民ワークショップでは、4つのグループに分かれ、令和元年9月から計6回にわたり、市の人口対策についての戦略プロジェクトの検討を行い、提言書をまとめていただきました。



提言とりまとめまでの流れ

回	開催日時	プログラム
第 1 回	令和元年 9 月 26 日 18:30 ～ 20:30	オリエンテーション及びワークショップ（WS）の実施 (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略とは (2) WS の実施 ○本市の魅力を抽出し、本市で幸せになれる人物像を考えよう ①グループ分け ②メンバー自己紹介 ③正副リーダーの選出 ④魅力の抽出 ⑤人物像の検討
第 2 回	10 月 10 日 18:30 ～ 20:30	WS の実施 ○本市の魅力を抽出し、本市で幸せになれる人物像を考えよう (1) 人物像が抱える困難や野望を本市の魅力で解決する (2) 解決策を物語にし、物語のタイトルとあらすじを考える
第 3 回	10 月 29 日 18:30 ～ 20:50	WS の実施 ○本市の魅力を抽出し、本市で幸せになれる人物像を考えよう (1) 発表の準備 (2) グループ発表
第 4 回	11 月 6 日 18:30 ～ 20:30	WS の実施 ○本市の人口対策についての戦略プロジェクトを考えよう (1) 現行の日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、構成を確認 します (2) 第 3 回でグループ発表した人物像から、定住・移住・起業を促進する（後 押しする）事業を考えよう
第 5 回	11 月 20 日 18:30 ～ 20:30	WS の実施 ○本市の人口対策についての戦略プロジェクトを考えよう (1) 前回のワークで抽出された事業を 3 ～ 4 のグループにまとめよう (2) 各グループにタイトルをつけ戦略プロジェクトの原案を考えよう
第 6 回	12 月 11 日 18:30 ～ 20:30	WS の実施 ○本市の人口対策についての戦略プロジェクトを考えよう (1) 発表の準備 (2) グループ発表



〈次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップの様子〉

次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ 参加者

（敬称略）

グループ A

◎乙部 由季子
○浅原 勝
増田 宏
熊田 栄一

グループ B

◎加藤 聡
◎宮越 正夫
岩木 隆夫
小林 信行

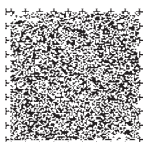
グループ C

◎潮田 真也
村上 彰
辻 正重

グループ D

◎大泉 征喬
○横山 完爾
日野 恭子
川島 弘之

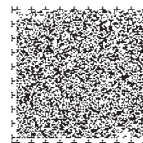
◎リーダー ○サブリーダー



次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ提言書（抜粋）

属性	人物像 A				人物像 B				人物像 C			
	市内在住・困難を抱えている				市外在住・困難を抱えている				市内 or 市外・野望を持っている			
グループ名	A 班	B 班	C 班	D 班	A 班	B 班	C 班	D 班	A 班	B 班	C 班	D 班
名前		小泉 太郎	重村 康也	佐藤 一郎		田中陽子	ふぐた さげ江	山本 さとみ		ケン・山田	金田 正彦	新井 匠
性別	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	男性	男性	男性	男性
年齢	40 歳	35 歳	67 歳	43 歳	32 歳	43 歳	28 歳	36 歳	25 歳	30 歳	45 歳	27 歳
仕事	農業	派遣社員	会社顧問	IT 企業（都内）	看護師	金融機関総合職	雑誌編集の仕事 夫：池袋でグラフィックデザイナー	スーパースタッフ	システムエンジニア	Web で自然志向のイベントグッズ通販	八王子市内の IT 系企業	陶芸家
居住地	清流	旭ヶ丘	鹿山地区の開発団地	田波目****番地	練馬区	川崎市	練馬区上石神井の賃貸アパート	大田区蒲田*・*（狭小アパート）	江東区有明	幡ヶ谷	日野市内マンション 4DK	高麗本郷****
家族構成	本人、妻、子供 2 人、父、母	本人、父、母	本人、妻（65 歳）	本人、妻、子供（10）、男（8）、男（3）	本人、子供 2 人	本人、子供（9）、女（4）	本人、夫 30 歳、長男 2 歳	本人、夫、子供（6）	本人のみ	本人、妻、ネコ 2 匹	本人、妻 42 歳主婦、長男大卒 1 年、歴史好き・喘息、長女八王子高校 2 年、次男中 3	本人、父（55）、母（55）
大事にしていること	・家族の絆と健康	・チームワーク ・健康	・自然環境 ・趣味のゴルフ ・健康管理	・家族との時間	・子供の成長	・母子家庭だが土日が休みだとれる仕事に不満はない	・子育て ・仕事は続いている ・自然豊かなところで子どもをのびのび育てたい	・家族の健康	・自然とふれあう ・地域に貢献したい	・自然が感じられること ・周りに縛られないこと ・時々人と集う、時々ひとりを楽しむ	・子供の教育（今は、次男の高校受験） ・生活環境（住宅、生活環境）	・日高の自然と歴史 ・自分の芸術家としての才能
どのような困難 or 野望なのか	・農地の維持・農業だけでは儲からない	・賛同する未就労者を集められるか ・モデル農家、農園、企業が研修を受け入れてくれるか ・立ち上げまでの資金援助とスポンサー探し ・同志のチームワーク	・夫婦 2 人で今後とも健康に生活していけるか不安	・残業が多く家族との時間がとれない ・都内までの通勤時間がかかる ・妻の実家近くに居住しているが、両親と不仲である	・住まいが狭い、子供の世話、遊ばせない場所がない	・子供には自然豊かな環境でのびのびと、現在の教育システムとは一線を画する学校はないかと探している	・もっと子どもが欲しいが、住居、金銭面で不安がある ・保育所の待機児童問題がある	・子どもがぜん息で、環境の良い所に引っ越しをしたい ・共稼ぎのため、転職先があるか不安である	・アウトドア事業を立ち上げたい	・長持ちする文明を作る	・会社での地位もあることから独立を考えている ・喘息の長男のために空気の良いために空気に住みたい	・日高市に自分の窯を作り、日高焼を創製する ・人間国宝
狙い	定 住				移 住				起 業			

次期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に係る市民ワークショップ提言書の具体的な内容については、市ホームページをご覧ください。



(4) 市民アンケートの実施

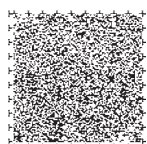
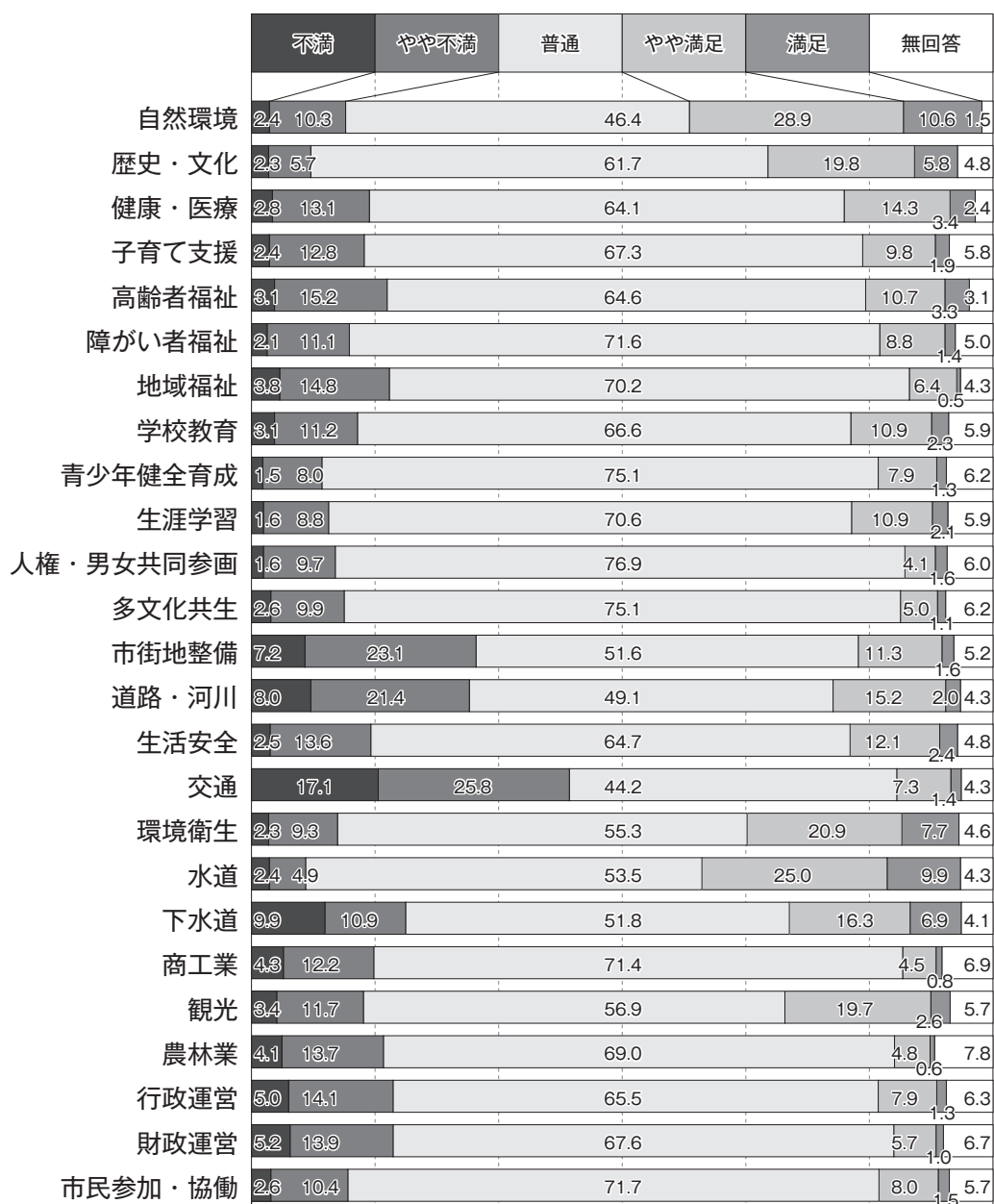
市民のまちづくりに対する意向を把握し、第6次日高市総合計画に反映させることを目的として、平成31年3月に「まちづくり市民アンケート調査」を行いました。この調査では、18歳以上の市民2,000人を対象に実施し、有効回収数は796票、回収率は39.8%でした。

この結果のうち、第5次日高市総合計画後期基本計画の25施策の取組に対する満足度と重要度をまとめると次のとおりとなります。

○施策の満足度

施策の取組に対するこれまでの満足度を、項目ごとに満足、やや満足、普通、やや不満、不満の5段階で評価していただき、点数化しました。満足度が最も高い項目は「水道」、次いで「自然環境」、「環境衛生」の順でした。一方、満足度が最も低い項目は「交通」で、次いで「市街地整備」、「道路・河川」という結果が出ています。

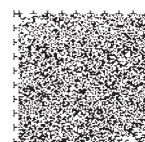
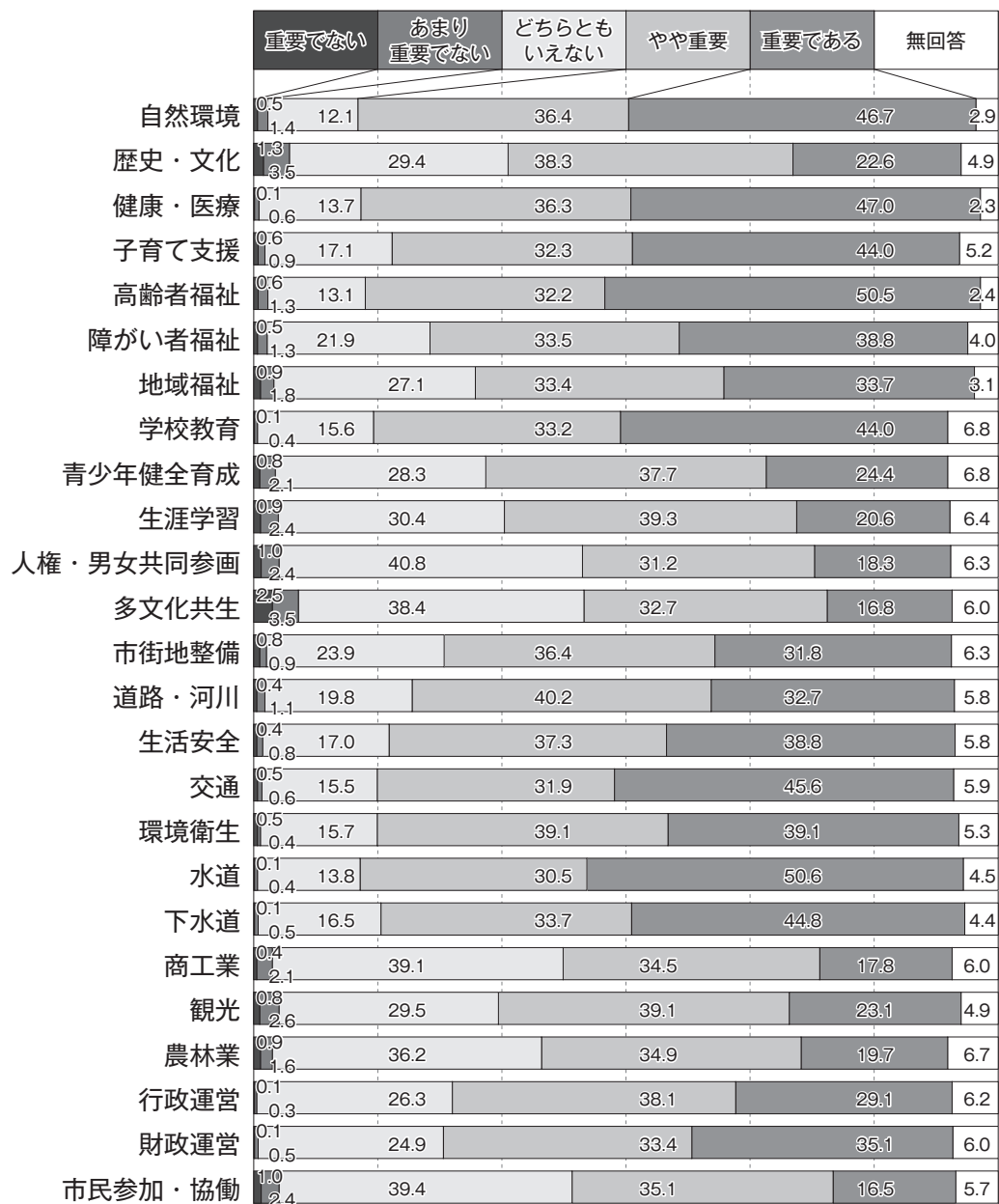
市民アンケート調査結果 満足度



○施策の重要度

施策の取組についてこれからの重要度を、項目ごとに重要である、やや重要、どちらでもない、あまり重要でない、重要でないの5段階で評価していただき、点数化しました。重要度が最も高い項目は「水道」、次いで「高齢者福祉」、「健康・医療」の順でした。

市民アンケート調査結果 重要度

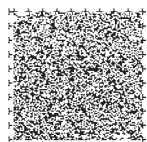
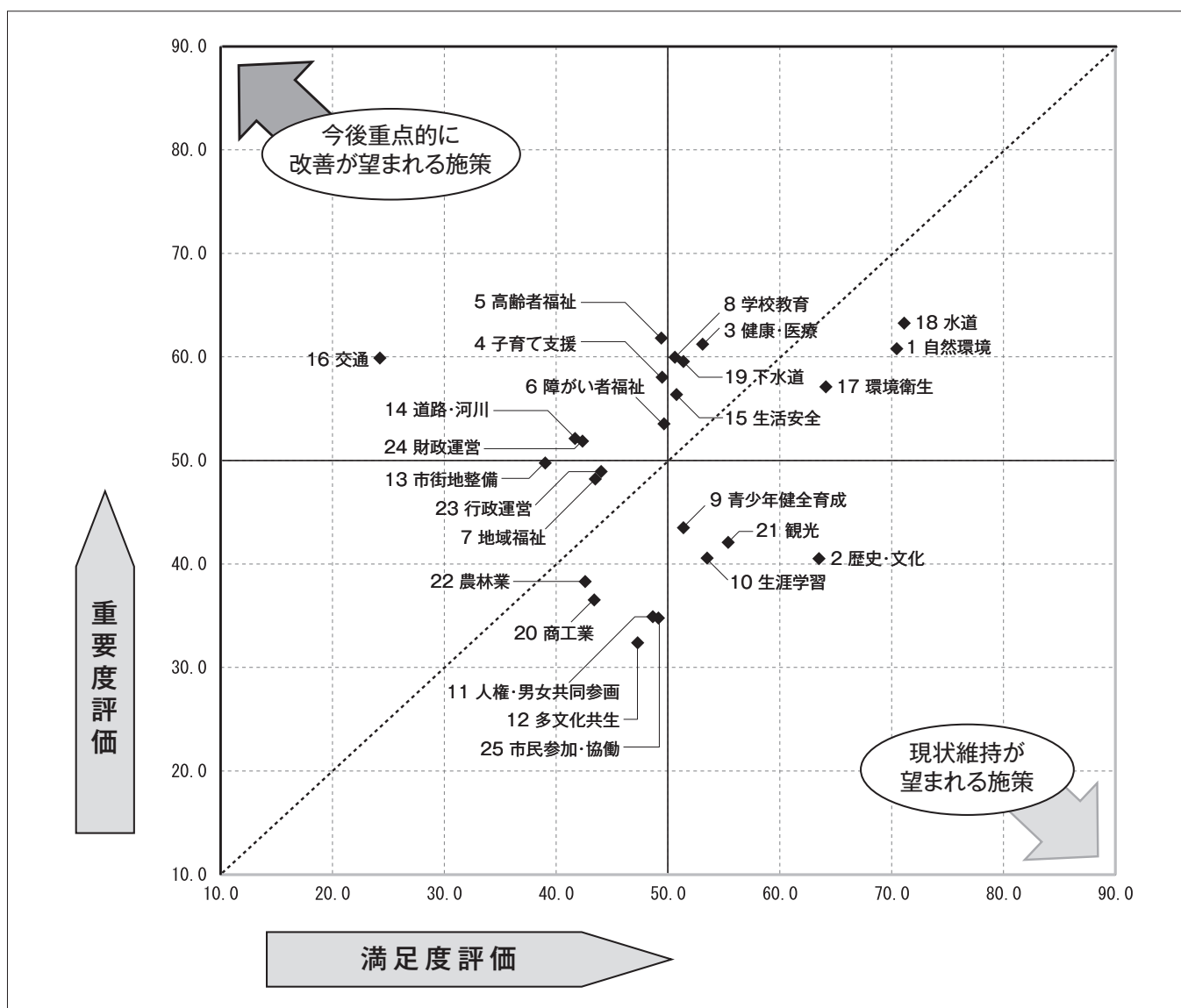


○施策の優先度

これまでの分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するため、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど今後重点的に改善が望まれる施策であり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど現状維持が望まれる施策であると言えます。

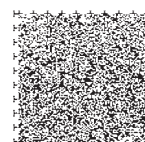
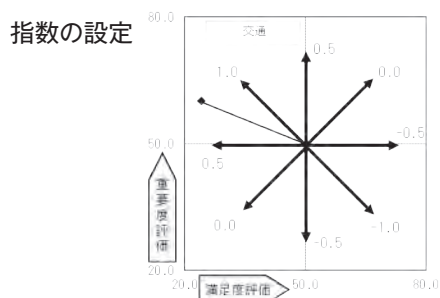
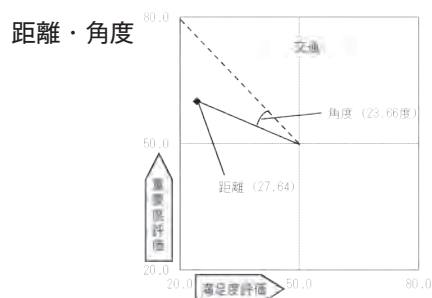
この結果をみると、優先度は、「交通」（20.38 点）が第 1 位で、次いで「高齢者福祉」（6.37 点）、「道路・河川」（5.77 点）、「市街地整備」（5.43 点）などの順となっています。

満足度と重要度の相関（全体／優先度）



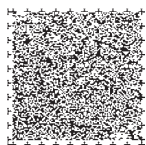
※散布図による評価点（優先度）の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「交通」→満足度偏差値 24.25…、重要度偏差値 60.06…
- ② ①で算出した偏差値から、平均（中心）からの距離を算出する。
例：「交通」→ $27.64\dots = \sqrt{(24.25-50)^2 + (60.06-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「交通」→23.66 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる）。
例：「交通」→ $0.7372 = (90-23.66) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「交通」→ $20.38 = 27.64\dots \times 0.73\dots$



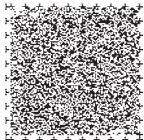
4. 第5次日高市総合計画後期基本計画の達成状況

基本目標	施策		施策目標	施策の展開		成果指標
1 自然を守り歴史 を伝える 憩いのまち	1	自然環境	豊かな自然を次世代に引き継ぐため、自然環境の保全や地球温暖化対策を推進します。	(1)	緑と清流の保全	環境に関するボランティア参加人数 河川の生物化学的酸素要求量（BOD）環境基準の達成率
				(2)	地球温暖化やその他の環境問題への取組	市内における温室効果ガス排出量
	2	歴史・文化	文化財の保護と活用、歴史・伝統文化の継承と、市民の芸術・文化の振興を図ります。	(1)	文化財の保護と歴史の継承	民俗資料館入館者数 市美術展の作品数
				(2)	芸術文化の振興	入場者数
2 健やかで やさしさあふれる ふれあいのまち	3	健康・医療	心身ともに健康で生き生きとした生活を送ることができる環境をつくります。	(1)	健康づくりの推進	食生活改善推進員や運動普及促進員関連事業の参加者数 生活習慣病死亡率
				(2)	健康相談の充実	—
				(3)	感染症の予防	三種混合及び四種混合の接種率
				(4)	国民健康保険制度の安定した運営	特定健康診査受診率 特定保健指導実施率
				(5)	国民年金制度の趣旨普及	—
				(6)	健康増進の推進	健康増進センター利用者数
	4	子育て支援	次世代を担う子どもを安心して産み、育てることができる環境をつくります。	(1)	子育て支援の充実	地域子育て支援センターの利用者数
				(2)	多様な保育サービスの提供と子育て環境の充実	保育所入所待機児童数
	5	高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援し、生きがいづくりや自主的な社会参加活動を促進します。	(3)	ひとり親家庭などの自立支援	母子・父子家庭自立支援給付金受給者のうち就業に至った割合
				(1)	高齢者の暮らしの支援	—
				(2)	生きがいづくりや社会参加活動の促進	総合福祉センター利用者数
				(3)	介護保険の充実	要介護認定者の割合 地域密着型サービス事業所数
				(4)	地域包括ケアシステムの構築	認知症カフェ開設箇所数
				(5)	後期高齢者の健康維持の推進	後期高齢者の健康診査受診率
	6	障がい者福祉	障がいのある人が、安定した生活を送れるよう支援し、社会参加や雇用の機会の確保に努めます。	(1)	地域生活の支援	障がい福祉サービスを利用している人数
				(2)	一般就労、就労継続の支援	障がい者就労支援センターの支援による就職人数
				(3)	医療費の助成	重度心身障がい者医療費助成制度受給登録者の割合
	7	地域福祉	一人一人が尊重され、安心して暮らせるよう、地域で共に助け合い、支え合う地域社会の実現に努めます。	(1)	低所得者などに対する支援の充実	厚生基金貸付件数
				(2)	地域福祉推進体制の充実	地域における見守り、支え合いなど地域福祉活動に参加している人の割合 ボランティア登録団体数 ボランティア登録者数
				(3)	民生委員・児童委員の活動支援	民生委員・児童委員充足率
				(4)	地域福祉推進体制の充実	地域における見守り、支え合いなど地域福祉活動に参加している人の割合
3 心豊かな人を育む 学びのまち	8	学校教育	確かな学力、豊かな心、健やかな体、豊かな関わり合いのバランスの取れた児童や生徒を育成します。	(1)	確かな学力の育成	埼玉県学力学習状況調査の教科に関する調査で県平均を上回る学校数の割合
				(2)	豊かな心の育成と健康・体力の増進	学校適応指導教室在籍児童生徒の学校復帰率
				(3)	質の高い学校教育の推進	ソーシャルスキルトレーニング研修会への参加経験率
				(4)	小中学校の施設環境の維持向上	負傷事故発生件数
				(5)	学校給食の充実	学校給食に地場産の食材を使用した日の割合
	9	青少年健全育成	地域、家庭、学校が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全な育成と郷土愛の醸成を図ります。	(1)	郷土愛の醸成	ひ・まわり探検隊の参加率
				(2)	青少年の健全育成	刑法犯少年の人口比
				(3)	地域の大人と子どもたちの交流の場づくり	放課後子ども教室開設校数
	10	生涯学習	生涯を通じて自らを高め、心豊かな人生を送れるよう、市民の生涯学習活動を支援します。	(1)	生涯学習の推進	—
				(2)	「人づくり」の支援	「生涯学習まちづくり出前講座」利用回数
				(3)	スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツ大会等参加人数
				(4)	読書に親しめる環境の整備	図書館催事の参加率
				(5)	図書館の整備や充実	市民一人当たりの貸出冊数 登録児童一人当たりの児童書貸出冊数
	11	人権・男女共同参画	人権について、正しい理解と認識を深めるとともに男女があらゆる分野で参画できる社会の実現に努めます。	(1)	人権啓発の推進	人権講演会などへの参加者数
				(2)	男女共同参画を推進する社会の形成	審議会などにおける女性委員の割合
	12	多文化共生	国際理解を深める機会を提供するとともに、外国籍市民の人にも暮らしやすい環境をつくります。	(1)	国際交流活動の支援	通訳・翻訳ボランティア活動回数
				(2)	外国人にやさしいまちづくりの推進	日本語教室参加者数（年間延べ人数）

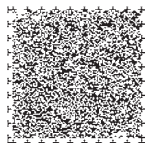


- ・第5次日高市総合計画後期基本計画で設定した成果指標の令和元年度時点までの達成状況を掲載します。なお、計画期間が終了する令和2年度の数値及び達成状況につきましては、まとまり次第市ホームページ等で公表する予定です。
- ・令和元年度と令和2年度で所管する課が違う事務事業については、令和元年度の課所名を記載し、括弧書きで令和2年度の課所名を記載しています。

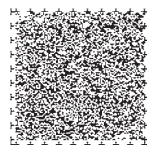
	所管課	実績値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	平成28年度成果	平成29年度成果	平成30年度成果	令和元年度成果	達成率
	環境課	207人	300人	240人	237人	214人	118人	39.3%
	環境課	95.0%	100.0%	90.0%	90.0%	90.0%	—	—
	環境課	1,309千t-CO2 (平成25年度)	950千t-CO2	—	—	—	—	—
	生涯学習課	9,587人	11,000人	10,493人	14,767人	12,241人	12,054人	109.6%
	生涯学習課	175点	200点	210点	186点	164点	161点	80.5%
	生涯学習課	1,093人	1,200人	1,065人	873人	1,052人	858人	71.5%
	保健相談センター	4,905人	5,000人	5,503人	9,359人	10,601人	8,816人	176.3%
	保健相談センター	53.7% (平成25年度)	40.0%	53.0%	52.8%	—	—	—
	保健相談センター	—	—	—	—	—	—	—
	保健相談センター	91.3%	95.0%	90.3%	90.9%	86.8%	83.7%	88.1%
	健康支援課 (保険年金課)	41.7%	60.0%	44.8%	45.0%	44.6%	43.0%	71.7%
	保健相談センター (保険年金課)	11.6%	60.0%	14.2%	8.8%	14.7%	16.1%	26.8%
	健康支援課 (保険年金課)	—	—	—	—	—	—	—
	子育て応援課	7,697人	9,000人	8,232人	8,609人	24,138人	16,900人	187.8%
	子育て応援課	3人	0人	0人	0人	0人	0人	100.0%
	子育て応援課	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	長寿いきがい課	—	—	—	—	—	—	—
	生活福祉課	137,227人	140,000人	142,753人	128,527人	135,668人	122,167人	87.3%
	長寿いきがい課	9.3%	12.5%	9.5%	9.6%	9.7%	9.7%	187.5%
	長寿いきがい課	6か所	14か所	10か所	11か所	11か所	10か所	71.4%
	長寿いきがい課	0か所	3か所	3か所	5か所	6か所	6か所	200.0%
	健康支援課 (保険年金課)	27.5%	35.0%	31.4%	33.8%	29.3%	—	—
	障がい福祉課	5,117人	5,300人	6,201人	6,848人	7,768人	7,897人	149.0%
	障がい福祉課	61人	65人	82人	100人	94人	106人	163.1%
	健康支援課 (保険年金課)	95.7%	100.0%	97.3%	99.1%	99.1%	—	—
	生活福祉課	43件	45件	38件	12件	3件	1件	2300.0%
	生活福祉課	27.2%	29.5%	28.4%	28.5%	27.2%	20.8%	70.5%
	生活福祉課	56団体	49団体	57団体	70団体	72団体	94団体	191.8%
	生活福祉課	1,191人	1,176人	1,209人	1,286人	1,264人	2,097人	178.3%
	生活福祉課	92.0%	100.0%	92.7%	92.7%	92.7%	86.2%	86.2%
	学校教育課	26.2% (平成27年度)	70.0%	26.2%	23.8%	33.3%	26.2%	37.4%
	学校教育課	67.0%	70.0%	80.0%	22.2%	58.3%	85.7%	122.4%
	学校教育課	30.5%	60.0%	54.9%	60.2%	69.0%	63.7%	106.2%
	教育総務課	0件	0件	0件	0件	0件	0件	100.0%
	教育総務課	18.9%	55.0%	55.7%	66.1%	57.0%	57.0%	103.6%
	生涯学習課	19.5%	20.0%	20.7%	20.9%	17.9%	18.2%	91.0%
	生涯学習課	10.6人	6.0人	3.6人	1.3人	4.1人	1.8人	191.3%
	生涯学習課	5か所	6か所	6か所	6か所	6か所	6か所	100.0%
	生涯学習課	—	—	—	—	—	—	—
	生涯学習課	46回	50回	45回	51回	27回	39回	78.0%
	生涯学習課	4,738人	6,000人	7,554人	9,069人	9,588人	4,416人	73.6%
	生涯学習課	106.0%	100.0%	108.0%	101.0%	107.0%	120.0%	120.0%
	生涯学習課	4.01点	5.44点	4.64点	5.19点	5.30点	4.91点	90.3%
	生涯学習課	21.9点	37.9点	25.1点	29.4点	29.4点	27.4点	72.3%
	総務課	1,129人	1,400人	1,185人	1,008人	1,597人	1,974人	141.0%
	総務課	33.8%	40.0%	40.5%	42.0%	42.5%	43.1%	107.8%
	総務課	9回	10回	21回	23回	21回	5回	50.0%
	総務課	439人	450人	324人	373人	270人	240人	53.3%



基本目標	施策		施策目標	施策の展開		成果指標
4 快適に暮らせる 安心・安全のまち	13	市街地整備	地域の特性に応じた計画的かつ適正な土地利用を誘導するとともに、良好な住環境の形成、保全を推進します。	(1)	都市計画マスタープランによる適正な土地利用	工業系市街化区域面積
				(2)	地籍調査の推進	地籍調査の進捗率（認証済）
				(3)	土地区画整理事業の推進	仮換地使用収益開始率
				(4)	良好な住環境の整備・保全	地区計画届出に係る勧告数
				(5)	安心で魅力ある公園緑地づくり	市民一人当たりの公園面積
				(6)	住宅の耐震化の促進	住宅の耐震化率
				(7)	市営住宅の適正な管理	市営住宅の外壁改修率
				(8)	企業誘致の推進と産業用地の創出	竣工企業件数
				(9)	高麗川駅東地区の整備	東地区主要道路の整備率
	14	道路・河川	都市機能を支える幹線道路の整備を推進するとともに、生活道路の利便性の向上や河川の機能充実を図ります。	(1)	国県道や都市計画道路などの整備促進	都市計画道路の整備率
				(2)	生活道路の整備	市道の改良率
				(3)	道路の維持管理	幹線道路等舗装補修率
				(4)	橋りょうの維持管理	橋りょうの定期点検の実施率
				(5)	河川環境の保全	—
				(6)	都市計画マスタープランによる道路整備	—
	15	生活安全	地域の安全や安心を確保するため、防災体制を強化し防犯活動を推進します。	(1)	防災体制の強化	自主防災組織率
				(2)	消防団員の加入促進と消防団体制の維持	消防団員の充足率
				(3)	防犯活動の推進	刑法犯罪認知件数
	16	交通	交通事故が起こりにくい環境をつくとともに、公共交通の充実を図ります。	(1)	バス交通の利用促進及び鉄道輸送環境の充実	—
				(2)	移動困難者の交通手段の検討	運転免許証自主返納者への支援件数
				(3)	高麗川駅東口の開設	—
				(4)	武蔵高萩駅自由通路の維持管理	—
				(5)	交通安全の推進	人身事故件数
				(6)	放置自転車の対策	放置自転車撤去台数
	17	環境衛生	快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、市民生活から排出される廃棄物を適正に処理します。	(1)	生活環境の保全・美化	ごみゼロの日・クリーン日高市民運動参加者数
				(2)	ごみの減量化、再資源化の推進	生活排水処理率（水洗化率）
				(3)	ごみ処理体制の確保と適正処理	市民一人当たりの可燃ごみ排出量
				(4)	し尿の適正処理	集団資源回収量
	18	水道	安全で安定した水の供給体制の維持に努めます。	(1)	安心できる水道	—
				(2)	災害に強い水道	水質基準適合率
				(3)	将来にわたり持続する水道	基幹配水管路の耐震化率
	19	下水道	衛生的な住環境の整備と水環境の保全に努めます。	(1)	下水道処理施設の整備	総収支比率
				(2)	下水道処理施設の適正な維持管理	公共下水道の普及率
				(3)	雨水施設の整備	公共下水道の接続率（水洗化率）
5 地の利を生かす にぎわいのまち	20	商工業	市内企業への支援とともに企業と連携した雇用の拡大により、地域経済の強化を図ります。	(1)	企業への支援	公共下水道雨水の整備率
				(2)	商工振興活動への支援	公共下水道の接続率（水洗化率）
	21	観光	本市の財産である自然や歴史を生かし、観光地としての魅力を高めます。	(1)	自然と歴史を生かした観光	市内企業合同説明会参加企業数
				(2)	広域で連携した観光の推進	市内事業所売上額
				(3)	市民参加の観光イベント	巾着田年間来場者数
	22	農林業	農地の有効活用と農業者の育成・支援を通じて、安定した農業経営の確立を図ります。	(1)	農地の保全と遊休農地の有効活用	入込み観光客数
				(2)	農業経営の安定化	高麗郷古民家来場者数
				(3)	林業の振興	—
				(4)	森林間伐面積	観光イベントボランティア参加者数
6 将来都市像実現 のための 行財政運営	23	行政運営	組織の適正化や効率的な行政運営を図るとともに、市民に身近な市役所を目指し、行政サービスの向上に努めます。	(1)	計画的かつ効率的な組織運営の推進	遊休農地面積
				(2)	広域行政の推進	認定新規就農者数
				(3)	電子自治体の推進	森林間伐面積
				(4)	行政サービスの向上	—
	24	財政運営	安定した歳入確保、経費の見直しと削減により健全な財政運営に努めます。	(1)	安定した財政運営	相互利用ができる公共施設の数
				(2)	税収の確保	市オープンデータへのアクセス数
				(3)	公共施設などの老朽化に対する総合的な対策	市ホームページアクセス数
				(4)	地域コミュニティ組織の充実	行政手続の電子化
	25	市民参加・協働	積極的な情報公開に努め、地域コミュニティ活動の活性化や市民の参画機会の充実を図ります。	(1)	市民活動の支援	経常収支比率
				(2)	広報活動・情報発信・情報公開の推進	市税の収納率
				(3)	広聴活動の充実	—
				(4)	—	—



	所管課	実績値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	平成 28 年度成果	平成 29 年度成果	平成 30 年度成果	令和元年度成果	達成率
	都市計画課	108ha (平成 25 年度)	120ha	108ha	108ha	108ha	108ha	90.0%
	建設課	97.0%	99.0%	97.9%	98.0%	98.0%	98.0%	99.0%
	区画整理課 (市街地整備課)	81.4%	100.0%	89.9%	93.2%	94.0%	96.6%	96.6%
	都市計画課	0 件	0 件	2 件	1 件	0 件	0 件	100.0%
	都市計画課 (市街地整備課)	5.94㎡ / 人	7.5㎡ / 人	7.23㎡ / 人	7.27㎡ / 人	7.27㎡ / 人	7.27㎡ / 人	96.9%
	都市計画課	80.0%	95.0%	78.1%	79.9%	81.7%	83.5%	87.9%
	都市計画課	0%	100.0%	33.3%	66.6%	66.6%	66.6%	66.6%
	都市計画課	84 件	90 件	91 件	93 件	94 件	95 件	105.6%
	都市計画課 (市街地整備課)	56.0% (平成 25 年度)	100.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%	56.0%
	建設課	49.9%	52.0%	51.6%	51.8%	60.7%	60.7%	116.7%
	建設課	30.6%	33.0%	31.0%	31.1%	30.9%	30.0%	90.9%
	建設課	42.0%	100.0%	49.2%	57.5%	58.9%	60.6%	60.6%
	建設課	0%	100.0%	4.0%	5.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	建設課	—	—	—	—	—	—	—
	都市計画課	—	—	—	—	—	—	—
	危機管理課	88.1%	100.0%	95.9%	97.2%	99.3%	100.0%	100.0%
	危機管理課	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	危機管理課	440 件	430 件	364 件	352 件	371 件	312 件	1280.0%
	交通政策課 (危機管理課)	—	—	—	—	—	—	—
	交通政策課 (危機管理課)	71 件	140 件	148 件	136 件	28 件	59 件	42.1%
	交通政策課 (危機管理課)	—	—	—	—	—	—	—
	交通政策課 (危機管理課)	—	—	—	—	—	—	—
	交通政策課 (危機管理課)	214 件	180 件	178 件	230 件	225 件	161 件	155.9%
	交通政策課 (危機管理課)	179 台	170 台	246 台	293 台	167 台	202 台	-255.6%
	環境課	12,379 人	14,000 人	12,488 人	12,623 人	12,731 人	12,387 人	88.5%
	環境課	98.5%	99.0%	98.8%	98.9%	98.9%	99.0%	100.0%
	環境課	190kg/ 人	183kg/ 人	189kg/ 人	189.7kg/ 人	190kg/ 人	192kg/ 人	-28.6%
	環境課	1,684t/ 年	1,750t/ 年	1,475t/ 年	1,428t/ 年	1,354t/ 年	1,260t/ 年	72.0%
	環境課	—	—	—	—	—	—	—
	水道課	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	水道課	30.5%	40.9%	32.1%	32.3%	33.2%	33.5%	81.9%
	水道課	108.0%	100.0% 以上	111.2%	111.5%	108.8%	107.7%	100.0%
	下水道課	58.5%	72.0%	59.6%	60.0%	60.1%	60.4%	83.9%
	下水道課	97.1%	98.0%	97.6%	97.9%	98.2%	98.4%	100.4%
	下水道課	—	—	—	—	—	—	—
	下水道課	5.4%	9.0%	6.5%	6.6%	7.1%	7.2%	80.0%
	都市計画課 (産業振興課)	1 社	20 社	12 社	15 社	15 社	20 社	100.0%
	産業振興課	58,694 百万円	60,000 百万円	62,406 百万円	85,103 百万円	85,103 百万円	—	—
	産業振興課	543,425 人 (平成 26 年)	650,000 人	552,338 人	608,650 人	594,388 人	639,624 人	98.4%
	産業振興課	3,562,922 人 (平成 26 年)	3,741,000 人	3,837,245 人	4,069,207 人	4,020,282 人	3,963,636 人	106.0%
	産業振興課	28,026 人	40,000 人	34,141 人	33,181 人	25,262 人	23,546 人	58.9%
	産業振興課	—	—	—	—	—	—	—
	産業振興課	167 人	300 人	265 人	261 人	294 人	184 人	61.3%
	産業振興課	44.6ha	40ha	36.1ha	37.5ha	47.6ha	60ha	-334.8%
	産業振興課	0 人	5 人	1 人	1 人	2 人	4 人	80.0%
	産業振興課	13.6ha	100ha	74.8ha	77ha	78.4ha	97ha	97.0%
	政策秘書課	—	—	—	—	—	—	—
	政策秘書課	102 か所	112 か所	101 か所	101 か所	101 か所	182 か所	162.5%
	市政情報課	一件	2,500 件	1,751 件	1,071 件	625 件	565 件	22.6%
	市政情報課	422,352 件	500,000 件	424,016 件	572,667 件	682,830 件	807,534 件	161.5%
	市政情報課	44 件	50 件	39 件	38 件	43 件	44 件	88.0%
	財政課	93.6%	86.5%	94.6%	94.6%	94.8%	95.1%	-21.1%
	収税課	98.7%	98.7%	99.0%	99.0%	99.1%	99.1%	100.4%
	財政課	—	—	—	—	—	—	—
	総務課	82.6%	85.0%	81.5%	80.7%	79.9%	78.7%	92.6%
	総務課	47 団体	50 団体	51 団体	51 団体	53 団体	93 団体	186.0%
	市政情報課	—	—	—	—	—	—	—
	市政情報課	—	—	—	—	—	—	—



5. 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証

(1) 効果検証

① 効果検証の目的

日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の目的を達成するためには、実施した施策・事業の効果の検証と改善を図る必要があります（Plan（計画）⇒ Do（実施）⇒ Check（評価）⇒ Action（改善）のPDCAサイクルの確立）。

そこで、総合戦略に設定した数値目標（重要業績評価指標（KPI）＝Key Performance Indicators）の効果を検証し、必要に応じて改善を図ります。

② 対象期間と目標値

対象期間は、平成27年度から令和2年度までです。当初の計画期間は令和元年度までの5年間でしたが、総合戦略に位置付けた事業の成果を着実に導き出すために、計画期間を1年間延長し、令和2年度までの6年間としました。

なお、目標値は計画期間延長の趣旨を鑑み、令和元年度又は直近の「目標値」を据え置く取扱いとしています。

③ 効果検証の方法

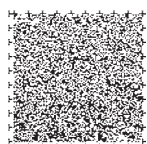
総合戦略における関連施策・事業の取組内容を数値により達成状況を明確にします。評価の区分は、目標値に対する達成率に応じて右の表のとおりです。また、効果検証は、計画期間中であるため令和元年度又は直近の実績値を用いています。

なお、地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金を活用した事業は、その妥当性・客観性を担保するため市民や専門家から構成される附属機関である「日高市行政経営審議会」から意見をいただいています。

評価	達成率
A+	100%以上
A	80%以上 100%未満
B	60%以上 80%未満
C	60%未満
－	集計中（未公表）

④ 効果検証結果の活用

総合戦略の効果検証結果は、着実に事業を推進していくために活用するとともに、次期「総合戦略」の策定に活用します。



(2) 効果検証結果

① 総人口

指標	平成 27 年	令和 2 年 推計値	令和 2 年 実績値	差 (実績値－推計値)
総人口	57,249 人	57,462 人	55,696 人	▲ 1,766 人

※各年 1 月 1 日時点の日高市住民基本台帳人口

計画策定時の人口推計値を約 3% 下回っている状況であり、この実績値は 6 年先の令和 8 年の推計値 55,865 人※を下回っています。

※(出典) 日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第 4 章資料編：人口ビジョン＜詳細版＞第 3 節将来人口の推計
図表 平成 72 年までの年齢 4 区分別将来人口の見込み 各年詳細

② 4 つの戦略に設定した KPI の評価

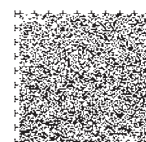
指標	基準値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	評価 達成率
戦略 1 入込観光客数	3,562,922 人 (平成 26 年度)	3,741,000 人	3,963,636 人	A+ 106%
戦略 2 まちへの愛着度	70.4% (平成 26 年度)	71%	68.8%	A 96.9%
戦略 3 合計特殊出生率	1.05 (平成 26 年度)	1.44	1.01 (平成 30 年度)	B 70.1%
戦略 4 市内従業者数	20,193 人 (平成 24 年度)	20,400 人	23,155 人 (平成 28 年 6 月 1 日現在)	A+ 113.5%

③ 評価結果から

総人口の実績値が推計値を約 3% 下回っている原因は、統計資料を検証していくと若者世代の転出超過、合計特殊出生率の低下、婚姻件数の低下と複合的な要因によるものと推測できます。

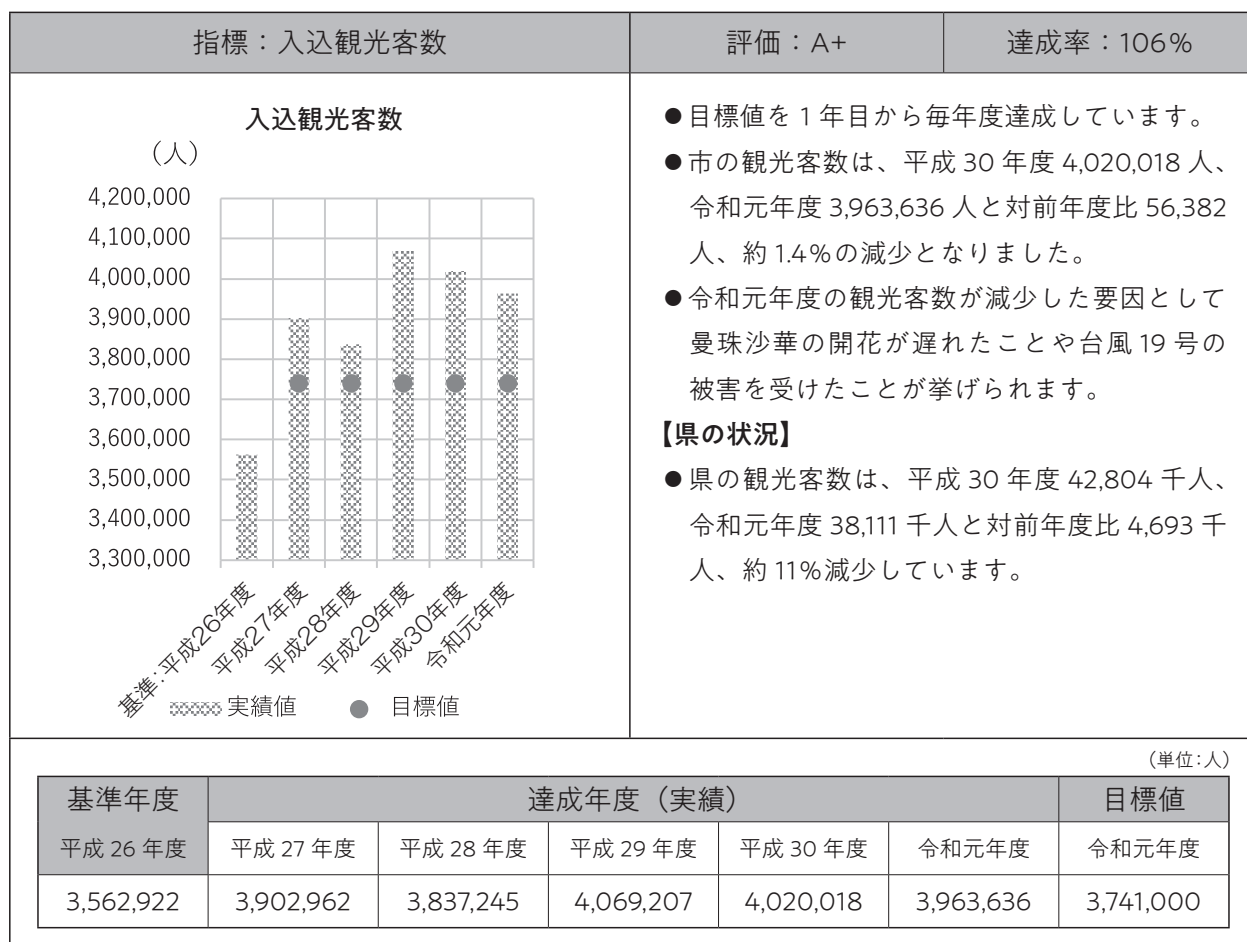
4 つの戦略に設定した KPI の評価や関連する指標の評価はおおむね達成されているにもかかわらず、計画に掲げた人口減少のスピードを抑制できていないことから、更なる施策の展開をしていく必要があります。

これらのことを踏まえて、第 2 期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定していきます。



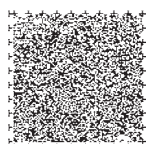
(3) 戦略目標ごとの評価

戦略 1

日本一を誇る 500 万本の曼珠沙華・高麗郡建郡
1300 年からつながる “ 魅力ある観光づくり ”

関連する指標

指標	基準値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	評価 達成率
高麗郷来訪者数	1,160,486 人 (平成26年度)	1,500,000 人	1,441,448 人	A 96.1%
市ホームページの外国人 利用件数	20,000 件 (平成26年度)	50,000 件	68,225 件	A+ 136.5%
高麗の郷ブランド認証数	56 点 (平成26年度)	66 点	73 点	A+ 110.6%



戦略2 日高に住み続けたいくなる“住環境づくり”

指標：まちへの愛着度		評価：A	達成率：96.9%
まちへの愛着度（令和元年度） 愛着を感じていない 3% あまり愛着を感じていない 9% どちらともいえない 18% どちらかという愛着を感じている 45% とても愛着を感じている 24% 無回答 1%		● 令和元年度の目標値 71.0%（「とても愛着を感じている」と「どちらかという愛着を感じている」を合わせた数値）に対し、実績値は 68.8%で、達成率 96.9%となりました。 ● 愛着を感じている割合を年齢別に見ると 10～20 歳代、60 歳代、70 歳代で高く、30 歳代、40 歳代で低くなっています。	

基準年度	達成年度（実績）					目標値
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和元年度
平成 26 年度	70.4%	—	—	—	68.8%	71.0%

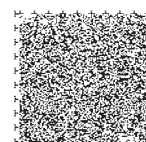
※総合計画の策定に合わせて市民アンケートを実施しているため平成 27 年度から平成 30 年度は数値なし。

【参考】 令和元年度まちへの愛着度調査結果

年齢	調査数	とても愛着を感じている	どちらかという愛着を感じている	どちらともいえない	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	無回答
全体	1,040(100)	250(24.0)	466(44.8)	186(17.9)	89(8.6)	36(3.5)	13(1.3)
10～20 歳代	58(100)	17(29.3)	26(44.8)	6(10.3)	4(6.9)	3(5.2)	2(3.4)
30 歳代	90(100)	16(17.8)	36(40.0)	19(21.1)	10(11.1)	9(10.0)	—
40 歳代	180(100)	39(21.7)	83(46.1)	31(17.2)	21(11.7)	5(2.8)	1(0.6)
50 歳代	159(100)	31(19.5)	76(47.8)	32(20.1)	14(8.8)	5(3.1)	1(0.6)
60 歳代	268(100)	71(26.5)	117(43.7)	53(19.8)	19(7.1)	7(2.6)	1(0.4)
70 歳代以上	280(100)	76(27.1)	128(45.7)	44(15.7)	21(7.5)	7(2.5)	4(1.4)

関連する指標

指標	基準値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	評価 達成率
建築支援における定住人口数	0 人 (新規)	292 人	185 人	B 63.4%
自主防災組織の組織率	88.1% (平成 26 年度)	100%	100%	A+ 100%

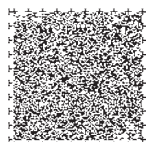


戦略3 笑顔あふれる“子育て環境づくり”



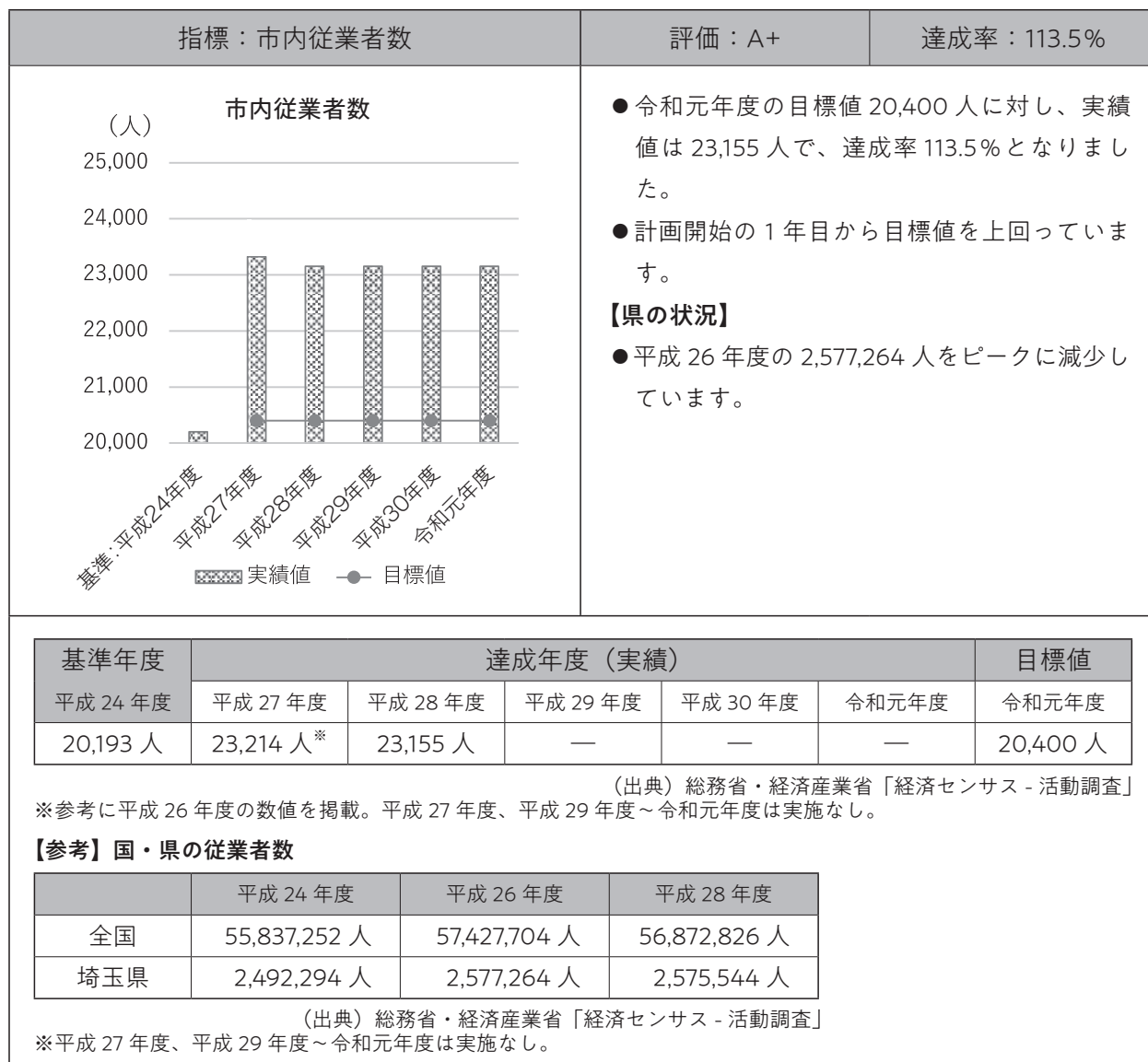
関連する指標

指標	基準値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	評価 達成率
歯科健康診査を受診した妊婦数	0 人（新規）	100 人	63 人	B 63%
子育て世代包括支援センターの利用者数	0 人（新規）	1,000 人	1,305 人	A+ 130.5%
地域交流ひろばの利用者数	0 人（新規）	540 人	115 人	C 21.3%
ファミリー・サポート・センターの会員数	130 人 (平成 26 年度)	320 人	253 人	B 79.1%
児童生徒の授業以外での1日の勉強時間 (1 時間以上の児童生徒の割合)	0%（新規）	小学校 70%	小学校 63.6%	小学校 A90.9%
		中学校 70%	中学校 68.0%	中学校 A97.1%
学力検査（CRT 検査）の「評定2及び3」 の割合	0%（新規）	国語 80% 算数 80%	—	平成 29 年度をも って CRT 検査終了



戦略 4

元気な未来につながる“しごとづくり”



関連する指標

指標	基準値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績値	評価 達成率
竣工企業の立地件数	84 件 (平成 26 年度)	90 件	95 件	A+ 105.6%
企業合同説明会参加企業数	1 社 (平成 26 年度)	20 社	20 社	A+ 100%
大学・飯能青年会議所との連携事業数	58 件 (平成 26 年度)	73 件	63 件	A 86.3%
コミュニティカフェ設置数	0 か所 (平成 26 年度)	54 か所	13 か所	C 24.1%

